



Kazuhiko Nishimura

西村 和彦

西村鐵工所



ネットワークでカゴの中の鳥から広い世界へ

長年にわたる様々な産業機械の修理や金属加工経験をもとに^{つちか}培われた、ボーリングの高精度加工に優れた技術を持つ。加工技術の情報収集等にも熱心で、同業若手グループなど多くのネットワークに参加している。また、地元工業会青年部会長として諸活動にも従事して後進の育成にも尽力している。



ボーリングは精密な穴くり加工

「ボーリングを分かりやすく言うと穴くり加工です。」と西村さん。実際には、穴の位置、^{けい}径などにミクロン単位の高精度を求められる加工。しかも部品の用途によって、精度を求められる部分が異なり、相手の要求に合わせて変えていかなければならない大変な加工技術。西村さんはNCフライス盤やCAD（製図ソフト）/CAM（CAD図面をもとに工業用の機械で部品加工するためのデータ作成ツール）、マシニングセンタなどの機械を駆使して高精度な製品加工を実現している。CAD/CAMを用い、精度だけでなく加工の手順や工具条件、リピータ品の段取りなどを管理し、作業時間の短縮や生産性の向上にも努めている。



大きさや形がさまざまな部品のボーリングに対応する。



部品ごとに異なる^{せきさく}切削道具の選定も大切な技能。

若手にチャレンジ精神を伝えていきたい

西村さんは、「とにかくやってみようぜ、一つ失敗したらもう一度。パーフェクトは無いんだ。」と失敗を繰り返してもあきらめず技能を磨いてきた人だ。そんな西村さんが、若手グループと交流する中で、若者が分からないことに対して、失敗しないよう安定志向になっていると感じる時があるそうだ。そんな時、精一杯頑張っている若手に「チャレンジ精神で挑もう。もっと自信を持って良いんだ。」と声をかけて励ましているそうだ。



切削加工時に出る切りくずの処理も課題の一つ。



フライス盤やマシニングセンタなど様々な機械が並ぶ事業所。

ネットワークを広げ多様なニーズに応える

ものづくりの業界は、会社によって得意分野が異なり加工方法も手順も違う。西村さんは仕事上、他社に出向いて機械を使わせてもらうこともあるが、そこでその会社の方法手順を知ることによって、知識やできることの幅が広がった。「やっぱり外に出なあかんと思った。」と語る。そうした経験から、複数企業のノウハウを結集して強固な協力体制を作れば、多様なニーズに応えられ^{きょうぞんきょうえい}今までのものを作っていけると確信。実現をめざし、共存共栄に向けて様々な交流会や活動に参画するなど、より広いネットワークを構築しようとしている。

次の人を思いつくる

西村さんの仕事へのこだわりは、何よりも自分の製品を受け取った人が次加工しやすい、使いやすい製品を作ること。次の作業の工程を理解し、求められる以上の仕事をする。「それが製品に対する誠意です。」とゆるぎない答えだった。



コンピュータで制御するといっても人の管理は必要。



マシニングセンタによる部品の仕上がりを目と手で確認。

所属企業 西村鐵工所

〒551-0031 大阪市大正区泉尾7丁目2-20 TEL: 06-6556-3555 FAX: 06-6556-3556



大阪テクノマスターとは…大阪市内のものづくり企業で活躍する“ものづくり”のスペシャリスト。

問合せ先 ▶ 大阪市 経済戦略局産業振興部産業振興課 〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビル オズ棟南館4階 TEL: 06-6615-3761 FAX: 06-6614-0190